

証券コード：2922



株主のみなさまへ

第59期 中間報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日

 株式会社 **なとり**

トップメッセージ



株主の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より「なとりグループ」に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、原油価格が高値で推移するなど不安要素を抱えながらも、企業収益の改善を背景に設備投資が増加、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の増加が続き、回復基調で推移いたしました。しかしながら、当社グループを取り巻く「おつまみ業界」においては、業種業態を越えた企業間の販売競争がますます激化しつつあります。また、食品の安心・安全に対する消費者の関心は、一層広がりを見せ、さらなる品質管理の徹底と安全性が強く求められております。

このような状況のもと、当社グループは、素材の風味を活かし、手軽に食べられ、楽しさを演出するおつまみをお客様にお届けするために、原料仕入から生産現場、店頭で商品が並ぶまでの品質管理体制の強化の推進、さらには今期より再編しました珍味売場と珍味外売場という二つのカテゴリー製品群への積極的な新商品の投入、また全社的なコスト削減などに注力してまいりました。これらの諸施策の結果、当中間期におきましては、増収増益の決算となりました。

この結果に甘んじることなく、下期におきましても、まじめに良い商品作りに取り組み、お客様に「安心・安全」でおいしい商品をお届けするという当社の伝統と精神を常に意識し、さらなる成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成18年11月吉日

代表取締役社長
名 取 三 郎

なとり「新おつまみ宣言」

素材の風味を活かし、手軽に食べられ、
楽しさを演出するおつまみをお届けします。

経営理念

株式会社なとりとそのグループは、自由闊達にして公正で節度ある企業活動により、食文化の創造と発展を通して、顧客満足・株主還元・社会貢献の実現を図り、社会的に価値ある企業として、この会社に係わるすべての人が誇りを持てる会社を目指します。

ミッション

素材の風味を活かし、生産・流通・販売において温度帯にとらわれず、手軽に食べられ、様々な食シーンにマッチする、楽しみの演出に欠かせないおつまみをお客様にお届けします。

ビジョン

チャレンジ to 60を通して、「おつまみ」の真のNo.1企業を目指します。

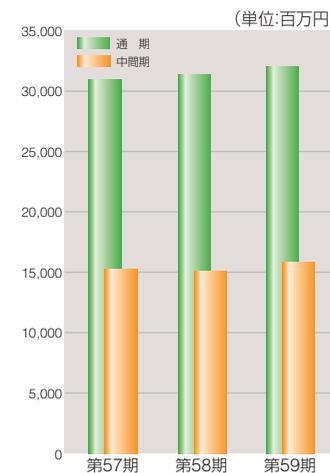
Contents

- トップメッセージ 1
- 財務ハイライト 2
- 財務の状況 3
- 製品紹介 5
- 新商品紹介 7
- 開発・生産・営業・物流拠点 8
- 会社の概要・企業集団の状況 9
- 株式の状況 10

財務ハイライト

連 結	第57期中間期 (平成16年9月期)	第58期中間期 (平成17年9月期)	第59期中間期 (平成18年9月期)	前事業年度 (平成18年3月期)
売 上 高 (百万円)	15,224	15,173	15,804	31,215
経 常 利 益 (百万円)	300	360	649	963
中 間 (当 期) 純 利 益 (百万円)	162	211	323	541
1株当たり中間(当期)純利益(円)	11.98	15.20	22.79	38.23
総 資 産 (百万円)	23,794	23,140	24,076	24,294
純 資 産 (百万円)	11,577	12,477	13,329	13,027
自 己 資 本 比 率 (%)	48.7	53.9	54.8	53.6
1 株 当 た り 純 資 産 (円)	851.51	896.46	929.49	916.49

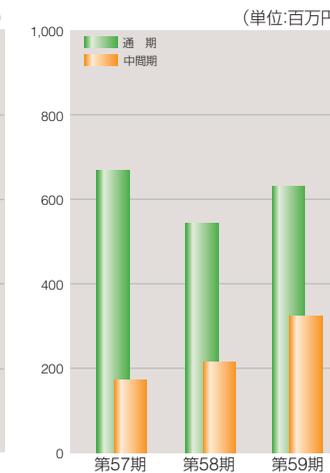
■売上高



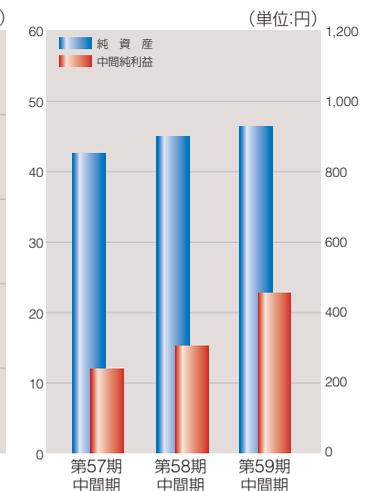
■経常利益



■中間(当期)純利益



■1株当たり中間純利益
■1株当たり純資産



(注) 第59期通期は見直し

財務の状況

中間連結貸借対照表 (単位: 百万円)

	前中間連結 会計期間末 (平成17年9月30日現在)	当中間連結 会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前連結会計 年度末 (平成18年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	10,022	11,210	11,122
現金・預金	998	1,371	1,102
受取手形・売掛金	4,342	5,015	4,697
たな卸資産	4,079	4,197	4,778
繰延税金資産	381	232	170
その他の資産	229	398	382
貸倒引当金	△ 8	△ 4	△ 9
固定資産	13,118	12,865	13,171
有形固定資産	11,608	11,268	11,505
無形固定資産	127	124	122
投資その他の資産	1,381	1,472	1,542
資産合計	23,140	24,076	24,294
負債の部			
流動負債	7,402	7,961	8,252
支払手形・買掛金	3,065	3,544	2,854
短期借入金	2,630	2,363	3,796
1年以内に返済予定の長期借入金	285	141	193
未払法人税等	55	376	31
賞与引当金	363	415	298
その他の負債	1,002	1,119	1,079
固定負債	3,099	2,785	2,891
新株予約権付社債	1,211	994	994
長期借入金	1,017	880	938
繰延税金負債	703	698	755
役員退職慰労引当金	119	153	141
その他の負債	47	59	61
負債合計	10,502	10,746	11,143
少数株主持分	160	—	122

負債の部

流動負債	7,402	7,961	8,252
支払手形・買掛金	3,065	3,544	2,854
短期借入金	2,630	2,363	3,796
1年以内に返済予定の長期借入金	285	141	193
未払法人税等	55	376	31
賞与引当金	363	415	298
その他の負債	1,002	1,119	1,079
固定負債	3,099	2,785	2,891
新株予約権付社債	1,211	994	994
長期借入金	1,017	880	938
繰延税金負債	703	698	755
役員退職慰労引当金	119	153	141
その他の負債	47	59	61
負債合計	10,502	10,746	11,143
少数株主持分	160	—	122

資本の部

資本合計	12,477	—	13,027
資本金	1,369	—	1,478
資本剰余金	1,685	—	1,793
利益剰余金	9,299	—	9,560
その他有価証券評価差額金	125	—	198
自己株式	△ 2	—	△ 2
負債・少数株主持分・資本合計	23,140	—	24,294

純資産の部

株主資本	—	13,074	—
資本金	—	1,478	—
資本剰余金	—	1,793	—
利益剰余金	—	9,805	—
自己株式	—	△ 2	—
評価・換算差額等	—	130	—
その他有価証券評価差額金	—	130	—
少数株主持分	—	125	—
純資産合計	—	13,329	—
負債・純資産合計	—	24,076	—

中間連結損益計算書 (単位: 百万円)

	前中間連結 会計期間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	当中間連結 会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前連結会計 年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	15,173	15,804	31,215
売上原価	10,316	10,745	21,238
売上総利益	4,856	5,058	9,977
販売費及び一般管理費	4,516	4,425	9,068
営業利益	339	633	908
営業外収益	57	42	125
営業外費用	36	27	71
経常利益	360	649	963
特別利益	30	46	81
特別損失	3	88	66
税金等調整前中間(当期)純利益	387	607	978
法人税、住民税及び事業税	40	359	80
法人税等調整額	135	△ 78	356
少数株主利益	△ 0	3	△ 0
中間(当期)純利益	211	323	541

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	240	2,136	△ 351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3	△ 306	△ 231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 664	△ 1,614	259
現金及び現金同等物の増減額	△ 427	215	△ 323
現金及び現金同等物期首残高	1,092	769	1,092
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	665	984	769

中間連結株主資本等変動計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日) (単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券評価差額金	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年3月31日残高	1,478	1,793	9,560	△ 2	12,829	198	122	13,150
中間連結会計期間中の変動額	—	—	△ 71	—	△ 71	—	—	△ 71
剰余金の配当	—	—	△ 7	—	△ 7	—	—	△ 7
役員賞与	—	—	323	—	323	—	—	323
中間純利益	—	—	—	0	—	—	—	0
自己株式の売却	—	0	—	0	—	—	—	0
自己株式の取得	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 68	2	△ 65
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	245	△ 0	244	△ 68	2	179
平成18年9月30日残高	1,478	1,793	9,805	△ 2	13,074	130	125	13,329

中間個別貸借対照表 (単位: 百万円)

	前中間 会計期間末 (平成17年9月30日現在)	当中間 会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前事業 年度末 (平成18年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	9,512	10,047	10,222
現金・預金	601	874	603
受取手形・売掛金	3,995	4,610	4,342
たな卸資産	3,776	3,869	4,478
繰延税金資産	322	158	114
その他の資産	822	536	689
貸倒引当金	△ 5	△ 1	△ 6
固定資産	10,334	10,306	10,537
有形固定資産	8,525	8,395	8,536
無形固定資産	123	119	118
投資その他の資産	1,685	1,791	1,882
資産合計	19,846	20,354	20,759
負債の部			
流動負債	6,242	6,335	6,816
支払手形・買掛金	3,042	3,459	2,808
短期借入金	1,760	1,174	2,777
1年以内に返済予定の長期借入金	138	24	49
未払法人税等	35	311	8
賞与引当金	251	285	205
その他の負債	1,015	1,080	967
固定負債	2,064	1,860	1,904
新株予約権付社債	1,211	994	994
長期借入金	24	—	—
繰延税金負債	700	695	752
役員退職慰労引当金	118	153	139
その他の負債	10	17	17
負債合計	8,306	8,195	8,720
資本合計	11,539	—	12,038
資本金	1,369	—	1,478
資本剰余金	1,685	—	1,793
利益剰余金	8,362	—	8,570
その他有価証券評価差額金	123	—	198
自己株式	△ 2	—	△ 2
負債・資本合計	19,846	—	20,759

負債の部

流動負債	6,242	6,335	6,816
支払手形・買掛金	3,042	3,459	2,808
短期借入金	1,760	1,174	2,777
1年以内に返済予定の長期借入金	138	24	49
未払法人税等	35	311	8
賞与引当金	251	285	205
その他の負債	1,015	1,080	967
固定負債	2,064	1,860	1,904
新株予約権付社債	1,211	994	994
長期借入金	24	—	—
繰延税金負債	700	695	752
役員退職慰労引当金	118	153	139
その他の負債	10	17	17
負債合計	8,306	8,195	8,720

資本の部

資本合計	11,539	—	12,038
資本金	1,369	—	1,478
資本剰余金	1,685	—	1,793
利益剰余金	8,362	—	8,570
その他有価証券評価差額金	123	—	198
自己株式	△ 2	—	△ 2
負債・資本合計	19,846	—	20,759

純資産の部

株主資本	—	12,027	—
資本金	—	1,478	—
資本剰余金	—	1,793	—
利益剰余金	—	8,758	—
自己株式	—	△ 2	—
評価・換算差額等	—	130	—
その他有価証券評価差額金	—	130	—
純資産合計	—	12,158	—
負債・純資産合計	—	20,354	—

中間個別損益計算書 (単位: 百万円)

	前中間 会計期間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	当中間 会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前事業 年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	14,040	14,670	28,791
売上原価	9,957	10,389	20,369
売上総利益	4,082	4,280	8,422
販売費及び一般管理費	3,817	3,779	7,673
営業利益	264	501	749
営業外収益	95	80	176
営業外費用	37	34	75
経常利益	323	547	850
特別利益	—	46	40
特別損失	2	87	64
税引前中間(当期)純利益	320	506	826
法人税、住民税及び事業税	20	294	39
法人税等調整額	132	△ 54	340
中間(当期)純利益	168	266	445
前期繰越利益	163	—	163
中間配当額	—	—	69
中間(当期)末処分利益	331	—	539

POINT 売上高

水産加工品は、従来の「乾き珍珠」市場の成熟化により、減少いたしました。水産以外の三製品群はそろって増収となりました。珍珠外売場では、素材菓子、スナック、チルド製品が増収、一方、小物菓子はマーケット自体の特殊な参入障壁もあり、減収となりました。

製品紹介

珍味売場
14,127百万円
(89.4%)

総売上高
15,804百万円

珍味外売場
1,676百万円
(10.6%)

水産加工品

- 一度は食べていただきたいおいしいさきいか
- 楽市楽備 さきいか
- すめちっポトル
- 技の逸品 一夜千風焼あたりめ
- ソフトいか燻製
- すめいかのやわらかいか天
- 帆立貝柱燻製
- チーズかまぼこ
- おつまみ昆布
- 茎わかめ梅味
- 鮭とばロング
- おつまみ市場 鮭燻チップ

畜肉加工品

- 一度は食べていただきたい粗挽きサラミ
- 贅沢粗挽きサラミ
- WILD JACK ビーフジャーキー
- 一度は食べていただきたい粗挽きサラミ
- 赤ワイン仕立て
- 楽市楽備 ジャッキーカルパス
- おつまみ市場 本格サラミドイツ風

酪農加工品

- 一度は食べていただきたい熟成チーズ鱈
- カマンベールチーズ鱈
- チーズ好きが食べるおいしいチーズ鱈
- 濃厚チーズ鱈
- 一度は食べていただきたい熟成チーズ鱈
- 濃厚チーズ鱈
- チーズ好きが食べるおいしいチーズ鱈
- ピザラチーズ鱈 イタリアンバジル味
- おつまみ市場 チーズ鱈

農産加工品

- つぶ餅ピーナッツ
- おつまみ市場 チーズ鱈
- おつまみ市場 チーズ鱈

その他製品

- おつまみカルテット
- (株)なとりデリカ 洋風惣菜
- (株)好好飲茶 金萬福の中華名菜飲茶セット

珍味売場だけではなく珍味外売場の積極的な開拓を目指して参ります!!

チルド製品

- チーズたら (プレーン)
- チーズたら (バジル)
- チーズたら (ブラックペッパー)
- あさりの酒蒸し
- さわらの白味噌焼き
- 鮭ハラスの塩焼き

スナック菓子

- 香ばしいおさかなのうす焼きスナック
- おさかなのうす焼きスナック 青のりしょうゆ味
- ベイクド チーズフィッシュ
- ベイクド チーズフィッシュ バジル&ガーリック味

素材菓子

- ひとくちさつまいも
- 梅スッキリ種めきポトル
- ブルー
- ねりうめ
- むき栗甘栗太郎
- かりかり梅

小物菓子

- 茎わかめ
- ジャッキーカルパス
- ビーフジャーキー
- 濃厚ソースカツ

製品群別の売上高・構成比

製品群	売上高 (百万円)	構成比 (%)
水産加工品	8,505	53.8%
畜肉加工品	2,239	14.2%
酪農加工品	1,805	11.4%
農産加工品	509	3.2%
その他製品	1,067	6.8%
チルド製品	99	0.6%
スナック菓子	38	0.2%
素材菓子	1,056	6.7%
小物菓子	482	3.1%

新商品紹介

注目商品

カップ入りスナック菓子シリーズ

従来の珍味売場に加え、珍味外売場の積極的開拓を狙ったカップ入りスナック菓子シリーズ。主に水産系の原料を使用し、ノンフライにすることで、他社のじゃがいもなどを原料とするスナックに比べ遥かに低カロリーなスナックにしました。

第一弾として、「ベイクド チーズ フィッシュ」と「香ばしいおさかなのうす焼きスナック」の二品を発売。

「ベイクド チーズ フィッシュ」は、当社のロングセラー「チーズ鱈」を焼いて、サクサクした食感とチーズの風味を生かしました。「香ばしいおさかなのうす焼きスナック」は、白身魚にチーズを加え薄く焼いた、サクサクで口どけの良いシーフードスナックです。また、バジルの香りとにんにくの風味がチーズの濃厚な味わいを一



層引き立てた「ベイクド チーズ フィッシュ バジル&ガーリック味」と、白身魚に青のりとしょう油を加え、風味豊かに仕上げた「おさかなのうす焼きスナック 青のりしょうゆ味」もラインアップに加わりました。

「一度は食べていただきたい」シリーズ



「おいしいさきいか」「おいしいあたりめ」「皮つきいか燻」「おいしいサラミ」「粗挽きサラミ」「熟成チーズ鱈」など、本物志向のプレミアムおつまみです。「さきいか」「あたりめ」「皮つきいか燻」のいか製品は旨味と鮮度を徹底的に追求し、「熟成チーズ鱈」や「サラミ」は、原料の品質と製法にこだわりました。全面ゴールドのパッケージで高級感を表現しました。

ピザラチーズ鱈 ゲッツ味

宅配ピザNo.1の「ピザラ」とのコラボレート商品第二弾。濃厚なチーズにトマトの酸味とガーリックの風味が効いた、ピザラでも人気の「ゲッツ」味。チーズには、デンマーク産のサムソー、マリボーと国産チェダーをブレンドしたものを使用し、こんがり揚げたパウダー状のガーリックを加えることで、ガーリックの香ばしさを引き出しました。ブラックペッパーでアクセントをつけ、味を程良く引き締めています。



チルドチーズたら



なめらかな口どけのクリームチーズを贅沢に使用し、鱈シートでサンドした当社のロングセラー「チーズ鱈」のチルドタイプです。「プレーン」、バジルをチーズに練りこんだ『バジル』、黒胡椒を練りこんだ『ブラックペッパー』の3タイプがあります。

「素材のこころ」シリーズ



野菜を用いた健康志向の素材菓子です。さつまいもやかぼちゃをペースト状にしたものをふんだんに使用し、素材のおいしさを十分に味わえるよう、上品な甘さに仕上げました。独特の「ぼくぼく」した食感がクセになります。

開発・生産・営業・物流拠点

(平成18年9月30日現在)



メイホク食品



函館なとり



- 開発拠点**
- 食品総合ラボトリー 東京都北区豊島8丁目3番3号
- 生産拠点**
- (株) なとり 埼玉工場 埼玉県久喜市清久町1番6号
 - Mei Hoku Food (株) 北海道札幌市清水川1220番1号
 - (株) 函館なとり 北海道北斗市清水川1142番12号
 - (株) CTF 埼玉県川口市青木1丁目20番16号
 - (株) 全珍 広島県呉市広末広1丁目3番28号
- 営業拠点**
- 営業所全国39カ所
- 物流拠点**
- 首都圏配送センター 埼玉県加須市大桑2丁目23番1
 - 北日本配送センター 北海道札幌市東区19条東2丁目1番4号
 - 東北配送センター 宮城県仙台市若林区卸町東2丁目2番7号
 - 中部日本配送センター 愛知県名古屋市中川区柳森町803
 - 関西配送センター 大阪府東大阪市本庄中1番地16
 - 九州配送センター 福岡県大野城市御笠川4丁目7番16号
- 連結子会社**
- 国内10社

会社の概要 (平成18年9月30日現在)

会社名 株式会社なとり
 本社 東京都北区王子5丁目5番1号
 設立 昭和23年6月
 資本金 1,478,125,250円
 従業員数 551名 (男子369名、女子182名)
 主要取引銀行 三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、農林中央金庫、
 商工組合中央金庫、三井住友銀行、りそな銀行

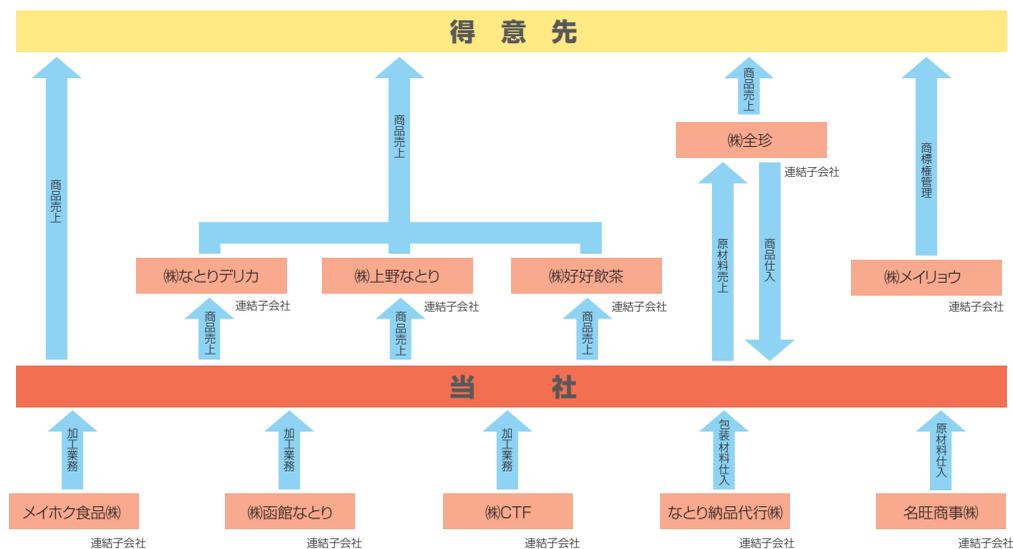
役員 (平成18年9月30日現在)

取締役会長	林 徹
代表取締役社長	名取 三郎
代表取締役副社長	名取雄一郎
取締役 上席執行役員	小嶋 利光
取締役 上席執行役員	北見 弘之
取締役 上席執行役員	出島 信臣
取締役 上席執行役員	小林 眞
取締役 (社外)	岡崎 正憲
取締役 (社外)	大藤 裕康
常勤監査役	打越 常夫
常勤監査役	塩谷 格
監査役 (社外)	割出 雄一
監査役 (社外)	三島 浩光
監査役 (社外)	中尾 誠男
上席執行役員	水野 政裕
執行役員	永井 邦佳
執行役員	山形 正
執行役員	名取 治
執行役員	鎌田 達夫
執行役員	西村 豊

企業集団の状況 (平成18年9月30日現在)

当社の企業集団は、子会社10社を連結対象会社として構成され、珍味売場向け5製品群（「水産」「畜肉」「酪農」「農産」「その他」）と珍味売場以外の4製品群（「小物菓子」「素材菓子」「スナック菓子」「チルド」）の「2カテゴリー9ジャンル」にきめ細かく分類し、各ジャンルにおいて、積極的に製品開発、販売戦略を推進しております。

事業の系統図は次のとおりであります。



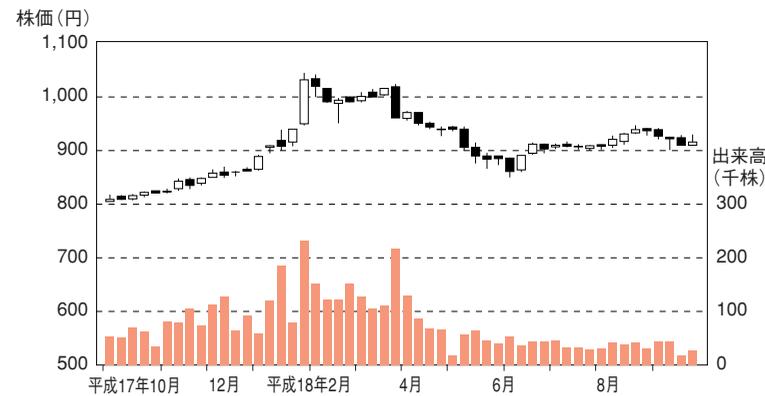
株式の状況 (平成18年9月30日現在)

- 会社が発行する株式の総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 14,210,421株
- 株主数 19,708名

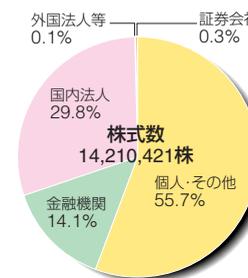
● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社名旺エステート	2,517,000	17.71
有限会社メイオウ	837,336	5.89
名取三郎	674,808	4.75
横山よし子	672,684	4.73
名取雄一郎	564,500	3.97
名取治	460,800	3.24
名取浪男	431,520	3.04
なとり取引先持株会	415,220	2.92
なとり社員持株会	362,360	2.55
相澤ふみ江	309,600	2.18

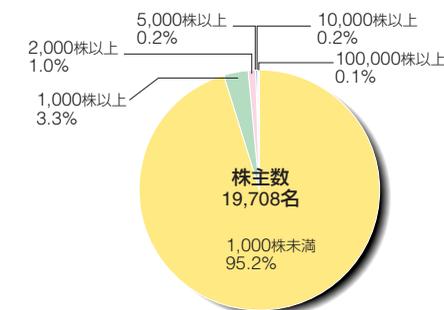
● 株価チャート (平成17年10月1日～平成18年9月末日)



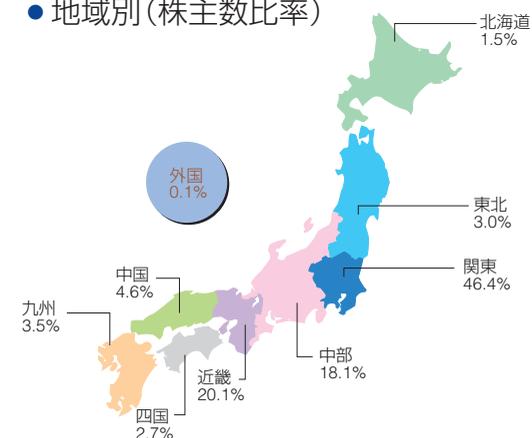
● 所有者別 (株式数比率)



● 所有株式数別 (株主数比率)



● 地域別 (株主数比率)





<http://www.natori.co.jp/>

株主優待のご案内

毎期末3月31日現在、当社株式を100株以上保有のすべての株主の皆様に対して、よりすぐりの商品を贈呈いたしております。

- 100株以上1,000株未満 2,000円相当
- 1,000株以上 3,000円相当

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日						
定時株主総会	毎年6月						
期末配当	3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。						
中間配当	中間配当をおこなう場合は、9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。						
基準日	<table border="0"> <tr> <td>定時株主総会の議決権</td> <td>3月31日</td> </tr> <tr> <td>期末配当</td> <td>3月31日</td> </tr> <tr> <td>中間配当</td> <td>9月30日</td> </tr> </table>	定時株主総会の議決権	3月31日	期末配当	3月31日	中間配当	9月30日
定時株主総会の議決権	3月31日						
期末配当	3月31日						
中間配当	9月30日						
公告の方法	<p>電子公告の方法によります。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。</p> <p>電子公告ホームページ http://www.natori.co.jp/koukoku/index.html</p> <p>貸借対照表・損益計算書ホームページ http://www.natori.co.jp/kessan/index.html</p>						
単元株式数	100株						
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社						
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店						
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120(78)2031						
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社本店および全国各支店						